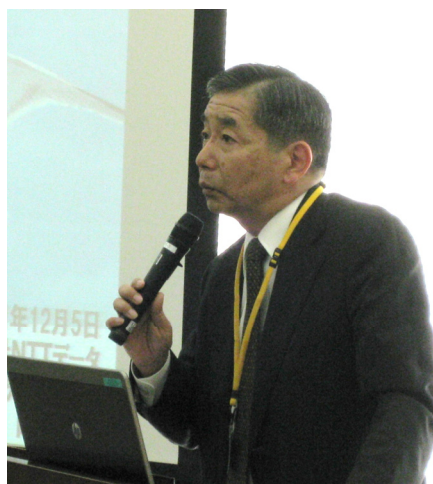


JISA 知的財産権セミナー

「知的財産の保護と活用を促す知財啓発の先進事例」開催

平成23年12月5日、全国情報サービス産業厚生年金基金会館において、JISA 知的財産権セミナー「知的財産の保護と活用を促す知財啓発の先進事例」が開催された。出席者は63名。

冒頭挨拶の中で、JISA 企画委員会知的財産部会の内池正名部会長は、「本日のメインテーマは、知財の価値を正しく理解してもらうことにある。知的財産の価値への理解は、一般の従業員のみならず、経営層、管理職、更にはお客様も含めて必要である。JISA では、知識集約型ビジネスモデルの拡大を志向しているが、知的財産の価値を正しく理解し、これを事業に活かす上では、大事な資産を管理する手法を考えたことや知財の保護と活用に貢献した人を評価することも必要となろう。本セミナーでは、三社の事例を通じて自社の取組に直接的に活用できる部分と取組のヒントとなる部分があるのではないかと。質疑応答の時間は、三社の事例を参加者各位の問題に引き寄せて、活発で有意義なものとして欲しい」と述べた。その後、三名の講師による講演が行われた。



1. 「NTTデータの知財教育のご紹介

～ “現場で活かせる知識習得” を目指した研修企画

岡洋子氏(株式会社 NTT データ 技術開発本部 知的財産室 課長)が、NTT データで行われている「全社員向け入門研修」「営業担当者向けトラブル対応力を高める実践的研修」の二つの研修から、主に著作権分野に関する事例を通じて、「現場で活かせる知識の習得」のための研修企画における工夫点を紹介し、特に、知的財産権の重要性を身近な事例等を通じて繰り返して浸透させ実践に活かすことの重要性を唱えた。また、同社の社員研修の企画・制作プロセスについても解説があり、研修教材の制作が若手知財スタッフの成長の機会となっていることにも言及された。

2. 「野村総合研究所の社内セミナーのご紹介 ～著作権セミナーを実例として」



新井克典氏(株式会社野村総合研究所 法務・知的財産部 上級専門スタッフ)が、知的財産権侵害の防止等を目的に野村総合研究所で行われている社内セミナーの中から著作権セミナーを実例として取り上げて解説し

た。原則として部室単位で開催している著作権セミナーでは、各部室のニーズや課題に応じて独自で作成した研修資料に加え、[JISAブックレット-6「情報サービスと著作権」](#)を一冊ずつ配布しており、著作権の基礎知識の理解のために同書を効果的に活用していることが紹介された。

3. 「キャノンITソリューションズの知財研修のご紹介 ～知財活動を定着させる知財研修の実務について」

眞野豊司氏(キャノン IT ソリューションズ株式会社 管理本部法務・知的財産部 知的財産課 課長)が、「自社の権利を守るとともに、他社の知的財産を尊重する」という指針の下、活動が定着するために不可欠な意識付けやスキル向上のための知財研修の実務について事例を交えて紹介した。特に、同社は特許に関する意識改革に力を注いでおり、社員が特許の必要性を理解して自発的に活動できるように、特許のメリット・リスクの説明や特許検索の方法の解説等を丁寧に行っている旨が説明された。

質疑応答では、「社員の啓発には繰り返しが大事ということに大いに共感した。研修を受講した後、一定期間経過後に再度受講させるようなことはあるか」「特許出願に向けたインセンティブやモチベーション向上の仕組みはどのようになっているか」、「部室単位で知財研修を実施する場合、研修の講師を各部室長に担当させることがあっても良いのではないか」等、多くの質問や意見が寄せられ、効果的な知財啓発の在り方を考える機会となった。

【関連URL】 ○[JISAブックレットのご案内](#)

(茂木)